



梅雨でもカウボーイキャンプ

馬とふれ合い、仲間とたのしく過ごす1泊2日

2015/6/27(土)・28(日)



梅雨でもカウボーイキャンプ!

馬とふれ合い、仲間とたのしく過ごす1泊2日

2015/6/27(土)・28(日)

プロジェクトの目的とねらい



自分が何をしたいのか、相手にどう伝えたらいいかわからない子どもが多いと言われています。

カウボーイキャンプを通じて、馬や友達の力を借りて、コミュニケーションをはかり、『自立』や『心の成長』を目指します。

言葉の通じない"馬"に自分の気持ちを伝えるには、自分の強い意志が必要です。馬とのコミュニケーションをきっかけに、自分で考えて行動することや、相手を思いやる気持ちに気づききっかけになる活動を目指します。

[プログラムのポイント]



①乗馬体験

乗馬を通して、最後まであきらめずに自分の意思を伝え、体を動かそう。自信につなげよう。

②馬の世話

進んで、馬の世話や、馬小屋の掃除に取り組もう。ポロ(馬糞)とり、ブラシかけ、えさやりに挑戦。自主性を発揮しよう。



③食事作り

班ごとに生活していきます。食事作りでは、協力して、主体的に、責任を持って進め、心の成長をめ

ざします。たくさんのお友達と仲良くなって、相手の気持ちを考えてあげられたり、自分の気持ちを伝えられるようになろう。





[1日目] 6/27(土) 天気:雨 日中の気温 23℃



1日目の午前中、雨が降ったりやんだりして、雨具を着て乗馬をする班もありました。乗馬をしない時間は、馬小屋の掃除(馬糞=ポロ取り)を行い、良い環境にしてあげよう取り組みました。午後はスプーン作り、夕ご飯づくり、ナイトハイクなどを楽しみました。

- 05:50 谷保駅集合
- 06:12 出発
- 08:41 御殿場到着
- 09:20 牧場着、開校式
(乗馬・馬小屋の掃除など)
- 12:00 お昼ごはん(タコライス)
- 13:00 乗馬・寝床準備・クラフト
(スプーン作り)
- 16:00 食事作り
- 17:30 夕ご飯(シチュー・ポテトサラダ)
- 20:00 就寝



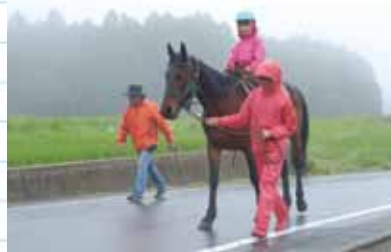
06:00 出発。梅雨空の下、参加者21名、電車を乗り継ぎ御殿場へ。



09:30 開校式。お友達と協力して、自分ができることを考えようね!と約束。



10:00 ポロ(馬糞)取り。おがくずを入れ替えて、気持ちのよい馬小屋に。



10:00 カッパを着て乗馬。手綱の持ち方、コントロールの仕方を学んだよ。



12:00 お昼ご飯。馬のことや、班での自分の役割を話し合いながら。



13:00 広場でクラフト。枝を削って、世界にひとつのスプーン作り。



16:00 夕食作り。かまどでシチュー。火加減や野菜の切り方も仲間と相談。



18:00 夕食。自分達で作ったごはんは格別。おいしかったね。



19:00 ナイトハイキングへ。“真っ暗”を体験。ホタルにも出会えたね。



20:00 馬小屋のロフトで就寝。馬の気配を感じながら。ヒヒーン…。



06:00 兎小屋の掃除。えさや水を与えて、ウサギの健康チェックもしたよ。



06:30 あさごはんの準備。班のお友達との役割分担も、スムーズに

- 06:00 起床
- 06:00 犬の散歩、兎小屋の掃除
- 07:00 朝ご飯の準備
- 07:30 朝ごはん
- 08:30 乗馬・馬小屋の掃除
- 12:00 お昼ごはん(片付け/撤収)
- 13:30 閉校式
- 13:45 牧場出発
- 14:04 バス出発
- 14:51 御殿場発
- 17:04 谷保駅着・解散

2日目は快晴。今日の乗馬は、馬場の
中で、馬をコントロールする方法を活
かして外へ。30分の道のりを草を食
べられずにしっかり乗ることが目標。
ポロ(馬糞)取りも、慣れてとんどん
作業が進み、最後まで協力してお片づ
け。牧場を名残惜しく後にしました。



07:00 あさごはん。モリモリ食べて準備OK! 乗馬も、撤収も、がんばるぞ。



08:30 馬のお世話。昼のえさも用意できたよ。作業も慣れてきたね。



09:00 ブラッシング、鞍をのせる。馬に乗るための準備も体験。



10:00 シュラフの天日干しと片付け。クルクル巻いて、結んで袋に入れて。



12:00 おにぎらずランチ。最後の食事。おしゃべりも食欲もはずむね。



13:00 使った調理道具やお皿などを片付け。次に使う人も気持ちがいいね。



14:30 乗換の駅での休憩では一言タイム。全力でサポートしてくれたスタッフ。



16:00 帰りの電車の中。心地よい疲れの中で、リラックス?!

みんなを乗せてくれたお馬さんたち



ラウラ

2003年5月生まれ。とっても、ひとなつっこくて、歩くスピードが早めなメス馬。



トレジャー

1994年5月生まれ。ちょっとだけ速く走るスピード、トロット（速歩）が得意。



ポテト

1995年5月生まれ。道産子とサラブレットのミックス。小柄な感じが子ども達に人気。



さんぼ

1995年4月生まれ。ビッグマウンテンランチで一番大きい馬。



こじろう

2009年5月生まれ。ひとなつっこくて、人にくっついて離れない。黄土色でかわいい。



講師、スタッフからみなさんへ



乗馬講師 高橋一美さん

1泊2日の短いキャンプでしたが、どうすれば上手に馬に乗れるか自分で考えたり、友達と協力して過ごしたり、ひとりひとりががんばって生活しましたね。乗馬は、コミュニケーション、集中力の持続などを勉強できるスポーツです。これからも、体を動かし、いろいろなことを考え、感じることを大切にしてほしいと思います。

また、ビッグマウンテンランチで会いましょう。ボンバーも、馬達もみんなに会えることを楽しみにしています。



谷保のそらっこ 佐藤有里さん

「梅雨でもカウボーイキャンプ！」雨も晴れも、どちらの活動も体験しましたね。雨具を着るタイミングや体温調節の工夫。乗馬中は、草を食べられないように、真剣に馬をコントロールしましたね。

楽しいことばかりではなかったはずですが、大変なことにもチャレンジしたことを思い出して、次につなげてほしいです。

みんなの心の優しさ、強さが、もっと広く大きくなることを願っています。



同行スタッフ代表 武藤芳暉さん

小学生の皆にとって、初めてのことが多かったと思います。初めて会った子と一緒に生活をする。火を起こしてご飯を作ったり、お馬さんのお世話をしたり。そして、お馬さんとの交流。集団での生活は、お互いの会話、コミュニケーションがとても大切です。一人一人が相手のことを思いやること、助け合うこと。当たり前のようにだけど、とても難しいこと。それでも、2日間という短い時間の中、皆が協力して仲良くなっていく姿を見ることができました。この体験で学んだことをこれからも生かして行ってください。



ビッグマウンテンランチでの
カウボーイキャンプ参加にあたり

1. キャンプへの導入

初めてご両親から離れて宿泊するお子さまやキャンプ久しぶりのお子様は不安がいっぱい。キャンプの前に「キャンプへ行くんだよ」という導入が大切です。楽しい事も、大変な事も沢山の体験をして欲しい、と保護者の方も楽しみながらお話をしていただき、キャンプの荷物準備もお子様と一緒にしましょう。」

2. 持ち物について

ビッグマウンテンは標高600m位あり山の天候と同じで寒暖の差が激しいです。夏でも

朝夕は冷え込みます。長袖、長ズボンを準備しましょう。天候が悪くても雨の中でも活動します。雨具はしっかりしたものをご用意しましょう。

3. キャンプ後、自宅に戻ってから
本人が自発的に話すのを待ち、お話を聞きましょう。楽しかった事、辛かった事、うれしかった事、失敗した事、発見した事、感動した事、など沢山あると思います。出来なかった、失敗した事等は次にどのようにすればいいのか、一緒に考えてあげてください。失敗、出来なかった、というのは悪い事ではありません。経験者、その道のプロ、と言われる人は失敗した事を経験としていっぱい記憶して

います。次に同じような状況になった時に記憶の中から引っ張りだし巧く行くように行動します。キャンプで出来た事を普段の生活でも継続して行く事でキャンプでの成果が何倍にもなります。キャンプでは「自分の事は自分で」と指導しています。普段の生活でも子ども達が自分で出来る環境を作りながらお手伝いもドンドン出来るように促しましょう。

[ビッグマウンテンランチ]
静岡県御殿場市中畑 1558
open:8:00 ~ 17:00
tel:0550-88-3139
FAX:020-4665-1033
<http://www.lala.gr.jp>

発行 平成27年7月
森のようちえん 谷保のそらっこ
〒186-0011 東京都国立市谷保 4380-2
☎ 070-6458-0105
E-mail: yahosora@outlook.com
<http://www.facebook.com/yahosora>

[Special Thanks(順不同敬称略)]馬の指導をしてくださった、高橋一美さん、佐島可菜子さん、たにやん。子どもたちの生活を担当してくださったスタッフのみなさん。武藤芳暉さん(むっくん)、小野夏海さん(マイケル)、井口友華さん(いぐ)、椎野あまかさん、椎野あやかさん、橋立真美さん。記録、活動報告書編集をしてくださった小林未央さん。ビッグマウンテンランチの馬たち…ポテト・ダンサー・イソップ・小次郎・トレジャー・ラウラ・サンダー・さんぽ



National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」